

試 験 地	受 験 番 号	氏 名

〔 受験地変更者は上欄のほか、本日の受験地と仮受験番号を記入してください。 〕
 本日の受験地..... 仮受験番号 仮-.....

平成 23 年度

2級電気工事施工管理技術検定試験

学科試験問題

次の注意事項をよく読んでから始めてください。

〔注 意 事 項〕

1. ページ数は、表紙を入れて **26 ページ**です。
2. 試験時間は、**10 時 30 分**から **13 時**までです。
3. 問題の解答の仕方は、下記によってください。
 - イ. [No. 1]～[No. 12]までの **12 問題**のうちから、**8 問題**を選択し、解答してください。
 - ロ. [No. 13]～[No. 32]までの **20 問題**のうちから、**11 問題**を選択し、解答してください。
 - ハ. [No. 33]～[No. 38]までの **6 問題**のうちから、**3 問題**を選択し、解答してください。
 - ニ. [No. 39]の問題は、**必ず**解答してください。
 - ホ. [No. 40]～[No. 52]までの **13 問題**のうちから、**9 問題**を選択し、解答してください。
 - ヘ. [No. 53]～[No. 64]までの **12 問題**のうちから、**8 問題**を選択し、解答してください。
4. 選択問題の解答数が指定数を超えた場合は、**減点**となります。
5. 解答は、別の**解答用紙**に、**HB**で黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
それ以外のボールペン・サインペン・色鉛筆などを使用した場合は、**採点されません**。
6. 問題は、**四肢択一式**です。正解と思う肢の番号を次のマーク例にしたがってぬりつぶしてください。

マーク例	<input checked="" type="radio"/> ぬりつぶし
------	--

7. マークを訂正する場合は、消しかたが十分でないと指定数を超えた解答となりますので、**消しゴム**できれいに消して訂正してください。
8. 解答用紙は、雑書きしたり、よごしたり、折り曲げたりしないでください。
9. この問題用紙の余白を利用して、計算などのメモを取ることは自由です。
10. この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。
途中退席者や希望しない方の問題用紙は、回収します。

※ 問題番号〔No.1〕～〔No.12〕までの12問題のうちから、8問題を選択し、解答してください。

〔No. 1〕 図に示す面積 S [m²] の金属板2枚を平行に向かい合わせたコンデンサにおいて、金属板間の距離が d [m] のときの静電容量が C_1 [F] であった。その金属板間の距離を $2d$ [m] にしたときの静電容量 C_2 [F] として、正しいものはどれか。

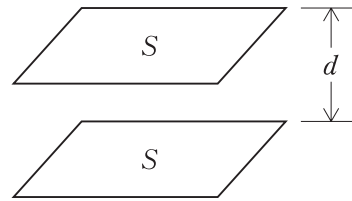
ただし、金属板間の誘電率は一定とする。

1. $C_2 = \frac{1}{4} C_1$ [F]

2. $C_2 = \frac{1}{2} C_1$ [F]

3. $C_2 = 2 C_1$ [F]

4. $C_2 = 4 C_1$ [F]



〔No. 2〕 図に示す平行導体イ、ロに電流を流したとき、導体イに働く力の方向として、正しいものはどれか。

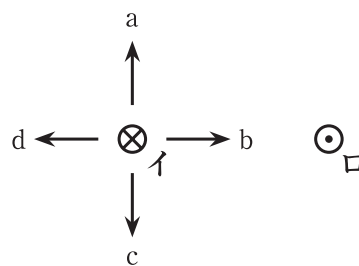
ただし、導体イには紙面の表から裏に向かう方向に、導体ロには紙面の裏から表に向かう方向に電流が流れるものとする。

1. a

2. b

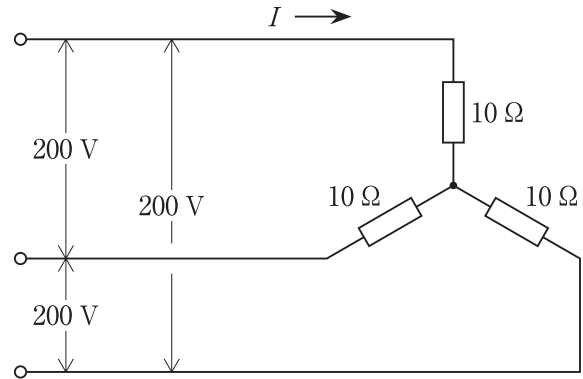
3. c

4. d



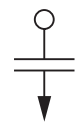



[No. 3] 図に示す三相負荷に三相交流電源を接続したときに流れる電流 I [A] の値として、正しいものはどれか。

1. $\frac{10}{\sqrt{3}}$ A
2. $\frac{20}{\sqrt{3}}$ A
3. $10\sqrt{3}$ A
4. $20\sqrt{3}$ A



[No. 4] 指示電気計器を動作原理により分類した場合の記号と名称の組合せとして、適切なものはどれか。

- | 記号 | 名称 |
|--|--------------|
| 1.  | 可動鉄片形計器 |
| 2.  | 静電形計器 |
| 3.  | 電流力計形計器 |
| 4.  | 永久磁石可動コイル形計器 |

[No. 5] 回転速度 $1\,500\text{ min}^{-1}$ のときの起電力が 200 V の直流他励発電機を、回転速度 $1\,200\text{ min}^{-1}$ で運転したときの起電力の値として、正しいものはどれか。

ただし、界磁電流は一定とする。

1. 128 V
2. 160 V
3. 200 V
4. 250 V

[No. 6] 単相変圧器 2 台の並行運転の条件として、必要でないものはどれか。

1. 変圧器の極性が一致していること。
2. 変圧器の巻数比が等しいこと。
3. 変圧器の全負荷効率が等しいこと。
4. 変圧器の巻線抵抗と漏れリアクタンスの比が等しいこと。

[No. 7] 真空遮断器に関する次の文章中、 に当てはまる語句の組合せとして、適当なものはどれか。

「高真空における の拡散作用を利用して消弧を行うものであり、 電圧が低く電極消耗が ため、変電所の低電圧・中容量の遮断器として広く用いられている。」

- | | イ | ロ |
|--|---|---|
|--|---|---|

[No. 8] 汽力発電所の熱効率向上対策として、**不適当なもの**はどれか。

1. 再生サイクルを採用する。
2. 再熱サイクルを採用する。
3. タービン入口の蒸気温度を低くする。
4. ボイラの燃焼用空気を排ガスで予熱する。

[No. 9] 調相設備に関する次の文章中、 に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

「調相設備は、イ を制御することによって送電線損失を軽減し、これにより送電容量の確保と系統 ロ 変動の抑制を図るために設置される。」

- | | イ | ロ |
|--|---|---|
|--|---|---|

[No. 10] 高圧配電線路に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 樹枝状方式は、負荷の分布に応じて木の枝のように分岐線を出す方式である。
2. 樹枝状方式は、隣接する配電線との間に常時開の連絡用開閉器を設置することが多い。
3. ループ方式は、幹線を環状にして結合開閉器を置き、電力を2方向から供給する方式である。
4. ループ方式は、負荷密度の低い地域に多く用いられる。

〔No. 11〕 照明に関する用語と単位の組合せとして、**不適當なもの**はどれか。

	用語	単位
1.	輝 度	lx
2.	光 度	cd
3.	光 束	lm
4.	色温度	K

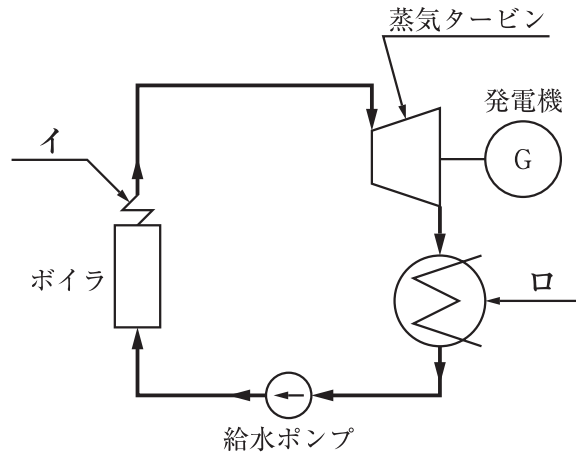
〔No. 12〕 単相誘導電動機の始動方式として、**不適當なもの**はどれか。

1. くま取りコイルによる始動
2. コンデンサ始動
3. じか入れ始動
4. 分相始動

※ 問題番号 [No.13]～[No.32] までの 20 問題のうちから、11 問題を選択し、解答してください。

[No. 13] 図に示す汽力発電の熱サイクルにおいて、イとロの名称の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- | | イ | ロ |
|----|-----|-------|
| 1. | 過熱器 | 復水器 |
| 2. | 過熱器 | 給水加熱器 |
| 3. | 節炭器 | 復水器 |
| 4. | 節炭器 | 給水加熱器 |



[No. 14] 変電所の油入変圧器の騒音に関する記述として、**最も不適當なもの**はどれか。

1. 変圧器本体の騒音は、励磁騒音が主要因である。
2. 送油風冷式冷却器の騒音は、冷却ファンによるものが主要因である。
3. 変圧器本体の下に防振ゴムを敷くことは、騒音対策に有効である。
4. 鉄心に磁気ひずみの大きいけい素鋼板を使用することは、騒音対策に有効である。

〔No. 15〕 送電線の保護リレー方式のうち、自所(自端)の電気情報だけを用いて電気事故を検出する方式として、**適当なもの**はどれか。

1. 距離リレー方式
2. 方向比較リレー方式
3. 位相比較リレー方式
4. 表示線(パイロットワイヤ)リレー方式

〔No. 16〕 高圧架空配電線路において、柱上変圧器の一次側の開閉器として一般に使用され、変圧器の過負荷と内部短絡を保護する機器として、**適当なもの**はどれか。

1. 避雷器
2. 柱上高圧開閉器
3. 高圧交流遮断器
4. 高圧カットアウト(ヒューズ付)

〔No. 17〕 架空送電線路に関する次の文章に該当する機材として、**適当なもの**はどれか。

「多導体では、短絡電流による電磁吸引力や強風により電線相互が接近や接触することを防止するため、電線相互の間隔を保持する目的で取り付ける。」

1. ダンパ
2. スペーサ
3. クランプ
4. シールドリング

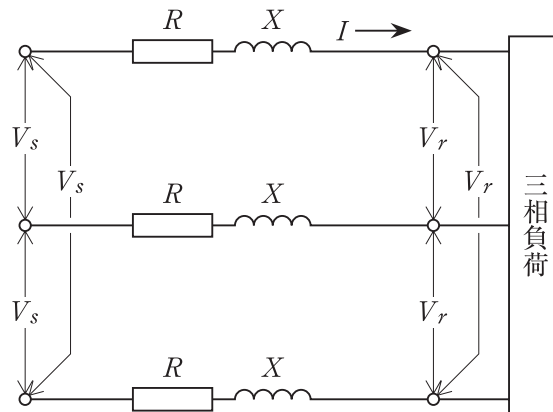
[No. 18] 図に示す三相3線式配電線路の送電端電圧 V_s [V] と受電端電圧 V_r [V] の間の電圧降下 v [V] を表す簡略式として、正しいものはどれか。

ただし、 R : 1線当たりの抵抗 [Ω] X : 1線当たりのリアクタンス [Ω]

$\cos \theta$: 負荷の力率

$\sin \theta$: 負荷の無効率

I : 線電流 [A]



1. $v = \sqrt{3} I (R \cos \theta + X \sin \theta)$ [V]
2. $v = \sqrt{3} I (X \cos \theta + R \sin \theta)$ [V]
3. $v = 2 I (R \cos \theta + X \sin \theta)$ [V]
4. $v = 2 I (X \cos \theta + R \sin \theta)$ [V]

[No. 19] 地中電線路における電力ケーブルの絶縁劣化の状態を測定する方法として、不適当なものはどれか。

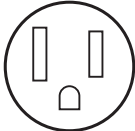
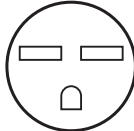


1. 誘電正接測定
2. シース損測定
3. 絶縁抵抗測定
4. 直流漏れ電流測定

[No. 20] 電気事業者(卸電気事業者及び特定規模電気事業者を除く。)が供給する電気の電圧に関する次の文章中、 に当てはまる数値として、「電気事業法」上、定められているものはどれか。

「標準電圧 100 V の電気を供給する場所において、供給する電気の電圧の値は、101 V の上下 V を超えない値に維持するように努めなければならない。」

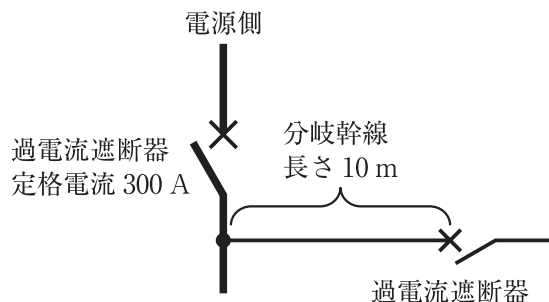
1. 4
2. 6
3. 8
4. 10

[No. 21] 単相 100 V 回路に使用する定格電流 15 A の接地極付引掛形コンセントの極配置として、「日本工業規格(JIS)」上、**適当なもの**はどれか。

1. 
2. 
3. 
4. 

[No. 22] 図に示す定格電流 300 A の過電流遮断器で保護された低圧屋内幹線との分岐点から、電線の長さが 10 m の個所に過電流遮断器を設ける場合、分岐幹線の電線の許容電流の最小値として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、正しいものはどれか。

1. 105 A
2. 135 A
3. 165 A
4. 195 A



[No. 23] 低圧動力設備に関する記述として、「内線規程」上、不適当なものはどれか。
ただし、低圧進相用コンデンサは個々の負荷の回路ごとに取り付けるものとする。

1. 電動機回路の低圧進相用コンデンサは、放電抵抗器付のものを使用した。
2. 電動機回路の低圧進相用コンデンサは、手元開閉器よりも電源側に接続した。
3. 三相誘導電動機の定格出力が 0.2 kW であったので、過負荷保護装置を省略した。
4. 三相誘導電動機の定格出力が 3.7 kW であったので、始動電流を抑制するための始動装置を省略した。

[No. 24] 三相から二相に変換する変圧器の結線として、適当なものはどれか。

1. V - V 結線
2. Δ - Δ 結線
3. Y - Y 結線
4. スコット結線

〔No. 25〕 高圧交流遮断器と比べた高圧限流ヒューズの特徴に関する記述として、**不適當なもの**はどれか。

1. 限流効果が小さい。
2. 再投入ができない。
3. 小形で軽量である。
4. 保守が簡単である。

〔No. 26〕 D種接地工事を施した箇所として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、**誤っているもの**はどれか。

ただし、配線は屋内配線とし、使用電圧は200 Vとする。

1. 金属管工事で使用した管
2. バスダクト工事で使用したダクト
3. 合成樹脂管工事で施設した金属製のボックス
4. 堅ろうな隔壁を設けて通信ケーブルと共用した金属ダクト工事のダクト

〔No. 27〕 低圧屋側電線路の工事として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、**不適當なもの**はどれか。

ただし、木造の造営物に施設する場合を除く。

1. 合成樹脂管工事
2. 金属管工事
3. 金属線び工事
4. ケーブル工事

〔No. 28〕 自動火災報知設備のP型2級受信機に関する記述として、「消防法」上、誤っているものはどれか。

1. 赤色の火災灯を設けないことができる。
2. 発信機との間で電話連絡をする機能が必要である。
3. 接続することができる回線の数5以下である。
4. 接続することができる回線の数1のものは、予備電源を設けないことができる。

〔No. 29〕 誘導灯に関する記述として、「消防法」上、誤っているものはどれか。

1. 誘導灯には、非常電源を附置する。
2. 電源の開閉器には、誘導灯用のものである旨を表示する。
3. 屋内の直通階段の踊場に設けるものは、避難口誘導灯とする。
4. 誘導灯に設ける点滅機能は、自動火災報知設備の感知器の作動と連動して起動する。

〔No. 30〕 インターホンに関する記述として、「日本工業規格(JIS)」上、不適当なものはどれか。

1. 親子式は、親機と子機の間に通話網が構成される。
2. 相互式は、親機と親機の間に通話網が構成される。
3. 選局数は、同一の通話網で同時に別々の通話ができる数である。
4. 配線本数は、指定の通話網を構成する場合に必要な機器相互間の線路に用いる配線数である。

[No. 31] 架空式電車線の特性に関する記述として、**不適當なもの**はどれか。

1. トロリ線の接続点やき電分岐点の金具は局部的な硬点となり、パンタグラフが跳躍して離線を生じることがある。
2. パンタグラフとトロリ線の接触抵抗と停車中の補機電流により、トロリ線の温度上昇が生じることがある。
3. トロリ線の電氣的磨耗は、集電電流の増大に伴い大きくなり、一般に力行区間に大きくあらわれる。
4. トロリ線の機械的磨耗は、パンタグラフの押し上げ圧力が小さく、すり板が硬いものほど大きくなる。

[No. 32] 道路照明に関する次の文章に該当する用語として、**最も適當なもの**はどれか。

「見え方の低下や不快感や疲労を生じる原因となる光のまぶしさ」

1. グレア
2. 誘導性
3. 輝度均斉度
4. 平均路面輝度

※ 問題番号〔No.33〕～〔No.38〕までの6問題のうちから、3問題を選択し、解答してください。

〔No. 33〕 建物内の給水設備における水道直結直圧方式に関する記述として、**不適当なもの**はどれか。

1. 受水槽が不要である。
2. 加圧給水ポンプが不要である。
3. 建物の停電時には給水が不可能である。
4. 水道本管の断水時には給水が不可能である。

〔No. 34〕 土質調査において、地盤の性質を現地で直接調べる試験として、**適当なもの**はどれか。

1. 空気量試験
2. 圧縮強度試験
3. スランプ試験
4. 標準貫入試験

〔No. 35〕 建設作業とその作業に使用する建設機械の組合せとして、**不適当なもの**はどれか。

- | | 建設作業 | 建設機械 |
|----|------------|---------|
| 1. | 土砂の掘削・押土 | ブルドーザ |
| 2. | 杭の打込み | 油圧ハンマ |
| 3. | 鉄骨の建方 | タワークレーン |
| 4. | コンクリートの締固め | タンパ |

〔No. 36〕 架空送電線の鉄塔の組立工法として、**不適當なもの**はどれか。

1. 相取り工法
2. 移動式クレーン工法
3. クライミングクレーン工法
4. 地上せり上げデリック工法

〔No. 37〕 鉄道線路及び軌道に関する記述として、「日本工業規格(JIS)」上、**不適當なもの**はどれか。

1. 施工基面とは、路盤の高さの基準面をいう。
2. 伸縮継目とは、軌道回路の絶縁箇所使用するレール継目をいう。
3. 標準軌とは、1 435 mm の軌間をいう。
4. ロングレールとは、200 m 以上の長さのレールをいう。

〔No. 38〕 コンクリート打設時に発生する施工の不具合として、**関係のないもの**はどれか。

1. ブローホール
2. 豆板(ジャンカ)
3. 砂すじ
4. 空洞

※ 問題番号〔No.39〕の問題は、必ず解答してください。

〔No. 39〕 構内電気設備に用いる配線用図記号と名称の組合せとして、「日本工業規格(JIS)」上、誤っているものはどれか。

- | | 図記号 | 名 称 |
|----|---|--------------|
| 1. |  | 情報用アウトレット |
| 2. |  | 端子盤 |
| 3. |  | スピーカ |
| 4. |  | 直列ユニット(75 Ω) |

※ 問題番号〔No.40〕～〔No.52〕までの13問題のうちから、9問題を選択し、解答してください。

〔No. 40〕 住宅用の太陽光発電設備に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 太陽電池アレイの屋根置き形は、屋根に支持物を介して太陽電池モジュールを設置する方式である。
2. スレート屋根の上に太陽電池アレイを設置する場合、支持金具はたる木などの構造材に荷重がかからないよう屋根材に固定する。
3. 太陽電池モジュールの表面を覆う遮光シートは、モジュールを固定し配線作業が終了したのちに取り外す。
4. 太陽電池アレイの電圧測定は、晴天時、日射強度や温度の変動が極力少なくなるときの行う。

〔No. 41〕 高圧架空配電線路の施工に関する記述として、**不適当なもの**はどれか。

1. 接続部の絶縁処理には、絶縁電線と同等以上の絶縁効果を有する絶縁カバーを使用した。
2. 張力が加わる部分における直線接続には、圧縮型直線スリーブを使用した。
3. 高圧架空電線を引張り、適正なたるみを与えてがいしに取り付けるために、張線器を使用した。
4. 高圧架空電線に、屋外用ビニル絶縁電線(OW)を使用した。

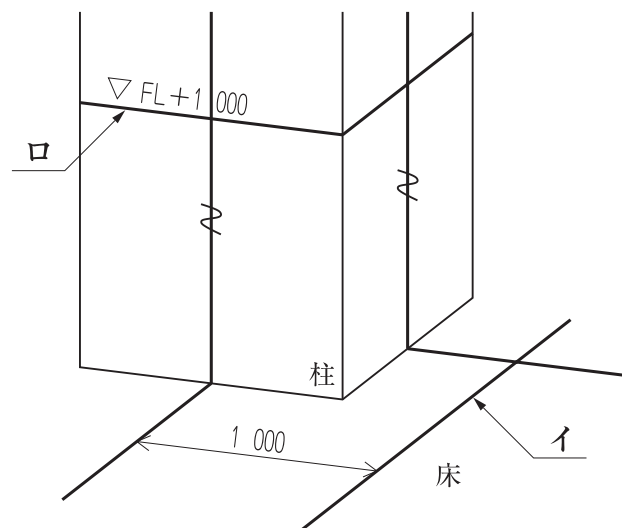
〔No. 42〕 低圧屋内配線に関する記述として、「内線規程」上、**不適当なもの**はどれか。

1. 金属管配線は、点検できない水気のある場所に施設できる。
2. 金属ダクト配線には、ビニル電線(IV)が使用できる。
3. ライティングダクトは、壁を貫通して施設できる。
4. ビニル外装ケーブルは、二重天井内でケーブルに張力が加わらないように施設することで、ころがしとすることができる。

[No. 43] 電気鉄道における架空式電車線路の施工に関する記述として、**不適当なもの**はどれか。

1. 電車線を支持する可動ブラケットは、長幹がいしを用いて電柱に取り付けた。
2. ちょう架線のハンガ箇所には、保護カバーを取り付けた。
3. 直線区間のトロリ線は、軌道中心に対し左右ジグザグに偏いをつけて架設した。
4. トロリ線相互は、圧縮接続管を使用して接続した。

[No. 44] 図に示す墨出しにおいて、イとロの名称の組合せとして、**適当なもの**はどれか。



- | イ | ロ |
|-------------|---------------------------|
| 1. 返り墨(逃げ墨) | <small>ろくずみ</small>
陸墨 |
| 2. 返り墨(逃げ墨) | にじり印 |
| 3. 心墨 | <small>ろくずみ</small>
陸墨 |
| 4. 心墨 | にじり印 |

[No. 45] 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書に記載する事項として、**最も不適当なものはどれか。**

1. 資材計画
2. 仮設計画
3. 予算計画
4. 品質計画

[No. 46] 消防用設備等の届出に関する次の文章中、 に当てはまる語句として、「消防法」上、**定められているものはどれか。**

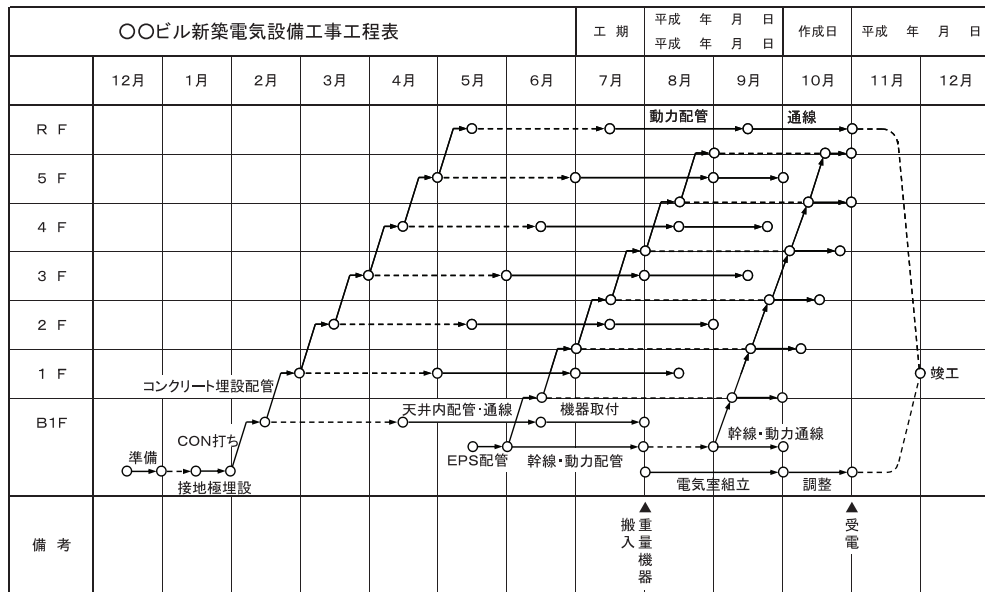
「自動火災報知設備の着工届は、工事に着手しようとする日の 前までに、消防長又は消防署長に届け出なければならない。」

1. 4 日
2. 10 日
3. 14 日
4. 30 日

[No. 47] 電気工事の工程管理に関する記述として、**最も不適当なものはどれか。**

1. 電力引込みなどの屋外工事の工程は、天候不順などを考慮し、余裕をもたせる。
2. 関連業者との工程調整では、電気工事として必要な工程を的確に要求する。
3. 進ちょく度曲線を用いて、施工速度と工事原価の関係を管理する。
4. 常にクリティカルな工程を把握し、重点的に管理する。

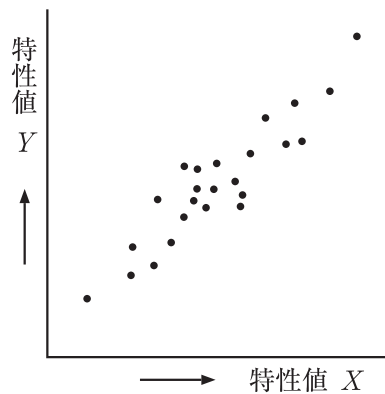
[No. 48] 図に示す工程表の名称として、**適当なもの**はどれか。



1. タクト工程表
2. バーチャート工程表
3. ガントチャート工程表
4. アロー形ネットワーク工程表

[No. 49] 図に示す品質管理に用いる図表の名称として、**適当なもの**はどれか。

1. ヒストグラム
2. パレート図
3. 管理図
4. 散布図



〔No. 50〕 絶縁抵抗測定に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 測定前に絶縁抵抗計の接地端子(E)と線路端子(L)を短絡し、指針が ∞ (無限大)を指示することを確認した。
2. 静電容量の大きい回路は、絶縁抵抗計の指針が安定したところで指示値を読んだ。
3. 高圧ケーブルの各心線と大地間を、1 000 Vの絶縁抵抗計で測定した。
4. 200 V電動機用の配線を、500 Vの絶縁抵抗計で測定した。

〔No. 51〕 建設工事現場において、物体を投下するときに投下設備を設け、監視人を置く等、労働者の危険を防止するための措置を講じなければならない高さとして、「労働安全衛生法」上、**定められているもの**はどれか。

1. 2 m 以上
2. 3 m 以上
3. 4 m 以上
4. 5 m 以上

〔No. 52〕 移動式足場(ローリングタワー)の組立作業に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. わく組の最下端近くに、水平交さ筋かいを設けた。
2. 3層の足場では、すべての建わくを組み立てた後に脚輪を取り付けた。
3. 作業床の足場板は、布わく上にすき間が3 cm以下となるように敷き並べて固定した。
4. 作業床の周囲には、床面より90 cmの高さに手すりを設け、中さんと幅木を取り付けた。

※ 問題番号〔No.53〕～〔No.64〕までの12問題のうちから、8問題を選択し、解答してください。

〔No. 53〕 建設業の許可に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 建設業を営もうとする者は、政令で定める軽微な建設工事のみを請け負う者を除き、建設業法に基づく許可を受けなければならない。
2. 建設業の許可は、発注者から直接請け負う一件の請負代金の額により、特定建設業と一般建設業に分けられる。
3. 建設業の許可は、建設工事の種類に対応する建設業ごとに受けなければならない。
4. 都道府県知事の許可を受けた建設業者であっても、他の都道府県において営業することができる。

〔No. 54〕 建設工事の施工技術の確保に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 主任技術者及び監理技術者は、当該建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理を行わなければならない。
2. 公共性のある施設に関する重要な建設工事で政令で定めるものを請け負った場合、その現場に置く主任技術者又は監理技術者は、工事現場ごとに専任の者でなければならない。
3. 一般建設業の許可を受けた電気工事業者は、下請負人として電気工事を請け負った場合、その請負金額にかかわらず、当該工事現場に主任技術者を置かななければならない。
4. 一般建設業の許可を受けた電気工事業者は、発注者から直接電気工事を請け負い、その一部を下請負人に請け負わせた場合、当該工事現場に監理技術者を置かななければならない。

〔No. 55〕 電気工作物として、「電気事業法」上、定められていないものはどれか。

1. 水力発電のための貯水池及び水路
2. 鉄道車両に設置される発電設備
3. 火力発電のために設置されるボイラ
4. 電気事業者が電気鉄道用変電所へ電力を供給するための送電線路

〔No. 56〕 電気用品の定義に関する次の文章中、 に当てはまる語句の組合せとして、「電気用品安全法」上、定められているものはどれか。

この法律において「電気用品」とは、次に掲げる物をいう。

- 一 イ の部分となり、又はこれに接続して用いられる機械、器具又は材料であって、政令で定めるもの
- 二 ロ であって、政令で定めるもの
- 三 蓄電池であって、政令で定めるもの

	イ	ロ
1.	一般用電気工作物	携帯発電機
2.	一般用電気工作物	太陽電池発電設備
3.	自家用電気工作物	携帯発電機
4.	自家用電気工作物	太陽電池発電設備

〔No. 57〕 登録電気工事業者が、一般用電気工作物に係る電気工事の業務を行う営業所ごとに置く、主任電気工事士になることができる者として、「電気工事業の業務の適正化に関する法律」上、定められているものはどれか。

- 1. 第一種電気工事士
- 2. 第三種電気主任技術者
- 3. 特種電気工事資格者
- 4. 認定電気工事従事者

〔No. 58〕 一般用電気工作物において、「電気工事士法」上、電気工事士でなければ従事してはならない作業から除かれているものはどれか。

ただし、電線は電気さくの電線及びそれに接続する電線を除く。

- 1. 配電盤を造営材に取り付ける作業
- 2. 電線を金属ダクトに収める作業
- 3. 電力量計を取り付ける作業
- 4. 電線相互を接続する作業

〔No. 59〕 次の用途に供する建築物のうち特殊建築物として、「建築基準法」上、定められていないものはどれか。

1. 学校
2. 劇場
3. 事務所
4. 危険物の貯蔵場

〔No. 60〕 消防設備士に関する記述として、「消防法」上、誤っているものはどれか。

1. 甲種消防設備士が行うことができる工事又は整備の種類は、第1類から第5類及び特類の指定区分に分かれている。
2. 第7類の乙種消防設備士は、自動火災報知設備の整備を行うことができる。
3. 消防設備士は、その業務に従事するときは、消防設備士免状を携帯していなければならない。
4. 消防設備士は、都道府県知事が行う工事整備対象設備等の工事又は整備に関する講習を受けなければならない。

〔No. 61〕 建設工事現場の統括安全衛生責任者が統括管理しなければならない事項として、「労働安全衛生法」上、定められていないものはどれか。

1. 関係請負人の安全衛生責任者を選任すること。
2. 作業間の連絡及び調整を行うこと。
3. 関係請負人が行う労働者の安全又は衛生のための教育に対する指導及び援助を行うこと。
4. 仕事の工程に関する計画及び作業場所における機械、設備等の配置に関する計画を作成すること。

[No. 62] 安全装置等の有効保持に関する記述として、「労働安全衛生法」上、**誤っているものはどれか。**

1. 労働者は、安全装置等を取りはずし、又はその機能を失わせないこと。
2. 事業者は、安全装置等が有効な状態で使用されるよう、それらの点検及び整備を行わなければならない。
3. 労働者は、事業者の許可を受けずに臨時に安全装置等を取りはずしたときは、作業終了後事業者に申し出ること。
4. 事業者は、労働者から安全装置等がその機能を失っている旨の申し出があったときは、すみやかに、適切な措置を講じなければならない。

[No. 63] 使用者が、労働者名簿に記入しなければならない事項として、「労働基準法」上、**定められていないものはどれか。**

1. 労働者の住所
2. 労働者の履歴
3. 労働者の雇入の年月日
4. 労働者の労働時間数

[No. 64] 建設工事に伴って生じたもののうち産業廃棄物として、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」上、**定められていないものはどれか。**

1. 汚泥
2. 木くず
3. 建設発生土
4. 廃プラスチック類